

平素より、本校教育活動にご理解・ご支援をいただきまして、誠にありがとうございます。第2回学校評価アンケートの結果をまとめ、学校運営協議会でもご意見をいただきましたのでお知らせします。これらの結果や皆様のご意見を踏まえ、今後の教育活動に活かしていきたいと思います。ご協力ありがとうございました。

## 第2回学校評価アンケート結果

児童・保護者・教職員全てが同じ項目について回答しているもののほか、児童は自分の行動について、保護者や教職員は子どもへの働きかけについて実現度を振り返って回答いただきました。

- 夢に向かって自ら学び、他者と協働しながら高め合う砂川の子 (確かな学力) .... A
- 思いやりの心をもち、仲間とともに伸びようとする自律した砂川の子 (豊かな心) .... B
- たくましい心と体を育み、「いのち」を大切にする砂川の子 (健やかな体) .... C



学校評価アンケート結果表				R4 第2回目			R4 第1回目		
番号	項目	観点	質問内容	児童 実現度	保護者 実現度	教職員 実現度	児童 実現度	保護者 実現度	教職員 実現度
1	生活に 関すること	B	進んで元気よく挨拶している。	93	87	86	92	87	96
2		B	学校が楽しい。	94	94	91	95	95	95
3		B	学校や学級のルールを守っている。	95	95	95	95	97	100
4		B	友達と仲良くしている。	98	95	91	98	96	100
5		B	ていねいな言葉づかいをしている。	89	77	86	89	82	87
6		B	掃除や整理整頓をしっかりしている	90	60	86	91	65	87
7		C	進んで体を動かしている。	86	68	81	87	71	82
8		B・C	自分の良いところが言える。	69	90	100	67	87	96
9		B・C	困ったときは、学校の先生方に相談している。	78	92	91	77	92	91
10		B・C	PTAや地域の行事によく参加している。	31	40	43	40	45	52
1	学習に 関すること	A	授業がよくわかる。	94	82	90	96	84	92
2		A	授業中、人の話をしっかり聞いている。	96	90	95	96	89	87
3		A	友達と協力して学習をしている。	94	65	90	95	70	91
4		A	宿題や家庭学習をしっかりしている。	93	83	80	94	87	87
5		A	進んで読書をしている。	81	57	70	87	53	78
1	その他	B	学校での出来事を家族に知らせている。	88	92	70	87	94	87
2		B・C	学校いじめの防止等基本方針の内容を理解し、組織的対応に努めている。			100			96
3		A・B・C	児童・保護者の訴え(アンケート結果含む)や相談内容を共有している。			100			95
4		A・B・C	教職員に気軽に連絡や相談がしやすい。		78				82

※実現度は「よく出来ている」「大体出来ている」を合わせた結果

※保護者の回答率 65%

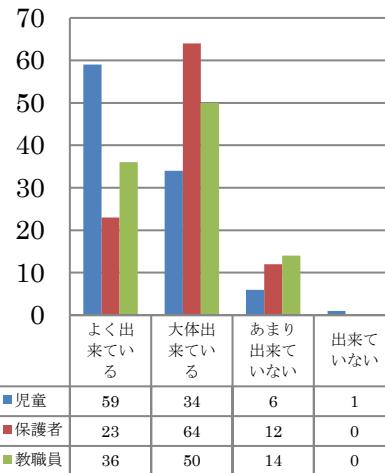
※保護者の回答率 47%

### 【生活に関すること】(実現度)

#### 1. 進んであいさつができる

前回の学校運営協議会でもご指摘いただいたところですが、今回は93%の児童が進んであいさつができると回答しており、あいさつを心がける子どもが増えてきたようです。

朝のあいさつだけではなく、校内ですれ違ったときや来校者などに対しても、相手を意識したあいさつを心がけている姿も見えるようになってきています。今後も、さらに相手に気持ちの届くあいさつができる子どもたちを育てていきたいと思います。ご家庭でもお声かけをお願い致します。



#### 6. 掃除や整理整頓をする

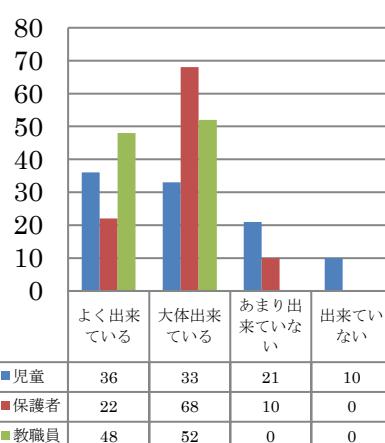
身の周りの整理・整頓をすることで、気持ちがすっきりし、学習にも向かいやすくなります。調査結果からは、掃除や整理整頓を心がけている児童の様子が見られますが、掃除の際、隅々まで目が行き届いていなかったり、机やロッカーの中などの整理整頓ができていなかったりする実態があります。今後、掃除についてはチェックリストなどを用いて点検したり、定期的に身の回りの整理整頓をする時間を設け、机やロッカー、お道具箱の中などの整理を習慣化したりするようにしたいです。

#### 8. 自分の良いところが言える

この項目は以前より学校運営協議会でもご指摘いただいた本校の課題の一つです。今回の結果は前回と比べて、児童・保護者・教職員共に2~4%上昇しました。

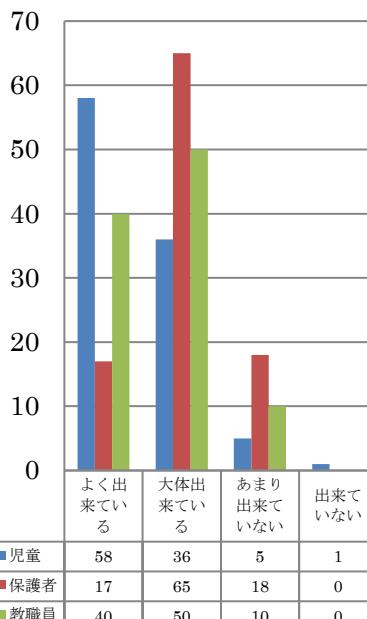
子どもたちが自分自身のよさを理解し、自己肯定感を高めることは非常に重要です。そこで、学校生活の様々な場面で、担任はもちろんのこと、校内の多くの教職員が意識して一人ひとりの子どもたちのよさや成長を認めたり、できるようになったことや頑張っている様子を褒めたりして、子どもたちが自分のよさに気付き、自信がもてるようにしてきました。また、学習においても、話し合い活動の中でお互いの考えを比べることを通して、互いを尊重し合ったり、認め合ったりするという場を多く取り入れてきました。わずかではありますが、これらの取組が成果として表れてきているのではないかと考えます。

今後も、このような取組を継続して、一人ひとりの子どもたちが自分のよさを実感し、それとともに自分自身を大切にする気持ちを高めていけるようにしたいです。保護者の皆様におかれましても、今後とも、子どもたちの話を聞いたり、頑張ったことを褒めたりして、子どもたちに寄り添った関わりをよろしくお願い致します。



## 【学習に関するこども】(実現度)

### 1. 授業がよくわかる

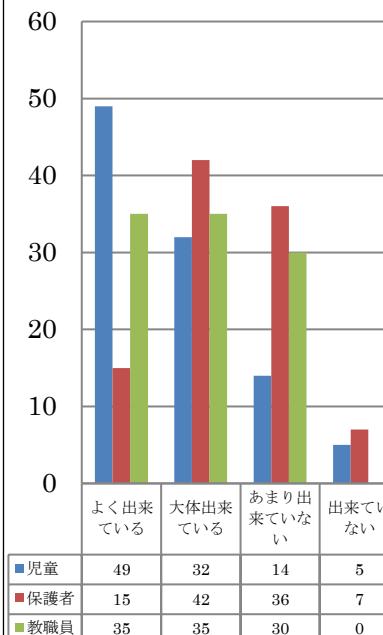


この項目については、94%の児童が「よく出来ている」「大体出来ている」と回答し、教職員にとっても嬉しい結果となっています。

しかしながら、「一人ひとりの子どもを徹底的に大切にする」という京都市の理念からも、残る6%の子どもたちも「できた!」「わかった!」と学ぶ楽しさを実感できる授業づくりが必要です。

日々の授業をさらに見直し、子どもたちに身につけさせたい力を意識して、すべての子どもたちが満足できる授業に向け、学習問題やめあてを大切にしたわかりやすい授業づくりに全教員で一層努めていきたいと思います。

### 5. 進んで読書をしている



砂川小学校の子どもたちだけではなく、社会全体で「子どもの読書離れ」が懸念されています。

今年度、子ども達の読書意識を高めるために、本校では例年2回であった読書週間を3回に増やし、教職員の読み聞かせや教職員のおすすめの本を紹介するなどの取組を充実しました。また、図書委員会の子どもたちも、おすすめ図書のポスター制作、読書bingo、しおりプレゼントなど工夫して活動しました。

結果としてはなかなかすぐには表れませんが、今後は読書ノートの一層の活用やブックトーク、読書感想文などへの取組を通して、さらに子どもたちの読書活動を充実していけたらと思います。



## 【保護者自由記述欄より】 抜粋

○本年度は遠足が行われるなど、コロナ禍前の活動を取り戻せた面があり、子の成長には必要と思うため嬉しくあり、また先生方のご尽力に感謝しております。運動会は二学年での開催となり、少しでも年上の刺激を感じ、自分の成長も感じることが出来る機会が出来てよかったです。ただ、運動会で声援を送れなかったことが残念です。先生方も試行錯誤されてると思うので、コロナ禍前と同様にとまでは言い難いですが、何かの形でその瞬間に声援を届けられる工夫を取り込めたらと思いました。

○いつもありがとうございます。学校は楽しいし給食も美味しい!心も体も育てていただいていると感じています。今後ともよろしくお願ひします。

○一輪車など学校の備品修理や点検を定期的に決めて、保護者の協力を募集するなどしてはどうかと思います。あと2足制なのに保護者においては曖昧なのが気になっています。

○進級に向けての相談や友達関係のことを話したいので、3学期に個人懇談をして欲しいです。

○学校の親が参加する行事(参観日等)の日程連絡を、早めにお願いしたいです。職場で勤務の調整が必要なため、ギリギリになると参加出来なくなる可能性があるためです。

○長期休みの時、図書室へ通えるようにして欲しいです。

## 【学校運営協議会理事会】より

○なんでも、インターネットやパソコンなどに頼ってしまう現状がある。GIGA端末はすぐに目的の言葉の意味を調べられるメリットがあるが、それはどうなのか?どのように活用するとよいかをしっかりと検討していくことが大切ではないか。

○児童に読書を促すためには、教職員をはじめ大人が本を読んでいる姿を示す必要があるのでは?また、本に触れる機会を増やすという意味において、保護者の意見として挙がっている長期休みに図書館を開館していくとよい。

○自己肯定感は幼い頃からの積み重ねに依るところが大きい。小学生のうちから様々な経験を積むことが大切である。

○「自分の良いところが言える」と断定的に問うのではなく、「自分には良いところがあると思う」という訊き方にした方が、答えやすいのではないか。

○子ども達が地域の公園に集まって外で遊んでいる姿をよく見るようになった。公園が美しくなって、遊びに来る児童も増えた。しかし、集まってもゲーム機で遊んでいたり、そもそも友達と集まらずに1人で過ごしていたり、家族と遊んだりする様子もあり、コロナ禍を経て子どもたちの遊び方が変化しているように感じる。

○コロナ禍で保護者間の繋がりが薄れてしまった。今後、PTAや地域の行事をどのように実施していくか、みんなで検討していく必要がある。

○昔と今では、時代の変化に伴い、考え方も変わってきている。教職員の負担を削減しながらも、子どもたちに質の高い教育をお願いしたい。

○「教職員に気軽に連絡や相談がしやすい」について、保護者の回答が前回の82%から78%に下がっている。保護者が学校に来る機会が減ったことで担任と話す機会が減っているかもしれないが、それらを真摯に受け止めて学校側が対策を考えていかれるようにと思う。ぜひ、この項目については改善していくようにしていただきたい。



ご多用の中、アンケートにご協力いただき、ありがとうございました。これからも、子どもたちが、安心して学校生活を送り、学びを深められるよう保護者と地域の皆様、学校が連携して教育活動を進めていきたいと考えております。

今後とも、ご理解・ご協力をよろしくお願いします。